

高梁川流域女性活躍連携推進事業【岡山県倉敷市】

個別事業費	2,189 千円
交付金額	1,094 千円

地域の実情と課題

令和元年度の市民アンケート結果では、働く女性の数は増加しているが、働く女性が男性同様に能力を発揮したり、キャリアを形成していくための環境整備が不十分であると市民は感じていることが明らかになった。

また、令和元年度に実施した市内事業所へのアンケートでは、女性の活躍推進への関心が、実際の取組に至らない事業所が4分の1以上ある。ポジティブ・アクションの取組を進めていない理由として「手法がわからない」と答えている事業所が多いことから、女性活躍推進の環境づくりについて、積極的な事業所の取組を共有することが有効である。

また、高梁川流域圏7市3町の各自治体は、人口減少・人口流出に歯止めをかけ、生活の利便性低下や地域経済が縮小することのないよう、「倉敷市第七次総合計画」の推進のもと、地方創生に関する取組を進めていく必要がある。

事業の特徴

(1) 高校生、大学生によるトークセッション、パネル展示
 高校生、大学生によるジェンダーをテーマとしたトークセッションを実施した。また、SDGsのゴール(目標)「5:ジェンダー平等を実現しよう」、「8.働きがいも経済成長も」を踏まえた内容で、生徒により制作されたパネル展示を行った。

(2) 女性活躍をテーマにしたセミナー
 起業やフリーランスで活躍している女性講師によるセミナーを4回開催した。

(3) 女性アクセサリー作家等によるワークショップ
 活躍している女性の姿に触れてもらうため、女性のアクセサリー作家等による、親子で参加できるワークショップを開催した。

(4) 女性活躍をテーマにしたマルシェ
 様々な形で活躍している女性等を出店者として集めたマルシェを開催した。

事業の効果

紙面・WEBによる事後アンケートでは、内容を5段階で評価し、総合的な満足度は4.2点であった。参加者から楽しかった、また行きたい等イベント自体を楽しんだ旨の評価はいただいたが、女性活躍についての理解についての評価はセミナー参加者に偏った。

目的・目標

【目的】
 倉敷市における女性の活躍を迅速かつ重点的に推進することに寄り添い、就労にむけた支援を行うこと

【目標】
 イベント参加者数(延べ人数)500名

連携団体

- 高梁川流域圏内においてSDGsの学習に取り組む高校、大学等

今後の課題

事業の本来の趣旨である女性活躍推進について、より効果的かつ効率的に伝えられる啓発事業のあり方を検討する必要がある。また、高梁川流域圏内他市町をはじめとした集客が不十分であった。今後は、参加者に事業の趣旨が伝わるかどうか、高梁川流域圏をはじめとした集客の強化に力を入れたい。

